

DMG森精機株式会社

証券コード：6141

**DMG MORI**



## お客様にとって一番の 工作機械メーカーであること。 それが私たちの グローバルワンです。

工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常に変革と挑戦を続けてまいりました。そして今、私たちが目指していること。それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の新しい価値を、無限の可能性を、世界中のお客様へお届けしてまいります。

取締役社長  
工学博士 森 雅彦

です。欧州市場では、EMO Milano 2015が開催されたイタリアやスペインを含め比較的好調に推移いたしました。アジア市場では、前半は韓国・台湾などが大きく貢献し、受注は好調に推移いたしました。後半にかけてやや鈍化いたしました。中国市場では、マクロ経済の減速がみられるなか、いわゆる安物・ニセ物の時代が終わり、日欧米と同じ品質、性能を求められ始め、当社は比較的堅調な受注を確保いたしました。

### ■ 当期の取り組みと課題

当社は、欧州の工作機械メーカーであるDMG MORI AGとの経営統合により、さらなるシェア拡大、収益性向上、資産効率改善に取り組んでいます。その一環として、重要部品の共通化及び品質、性能向上への取り組みを進めております。主要機械部品を内製化する強みを活かし、サーボATC、新素材製マガジン、ビルトインモータータレット、スピードマスター主軸等の共通部品の製造を当社が担うことにより、DMG MORI AGへの部品供給の拡大、製造ラインの稼働率向上を目指しております。

IoT/インダストリー4.0に対応したユーザーインターフェイスCELOSのテクノロジーサイクルの開発、組込ソフトウェアの充実を推進しております。2015年10月に開催されたEMO Milano 2015において、インダストリー4.0関連で共同出展した独シエフラー社と、全世界に先駆けてMachine 4.0

プロジェクトを開始いたしました。通信ネットワークを利用し、将来的にはCELOSの生産データと営業や経営システムを連携できるよう進めてまいります。

製品面では、新たにDMG MORI AGと共同開発したマシニングセンタecoMillシリーズをリリースいたしました。両社の高い技術力を融合した設計により、高い柔軟性、操作性、生産性を実現し、最高の精度と性能を誇る機械となっております。本機種は、DMG MORIグループの全世界9カ国16工場のうち、4カ国4工場にてグローバル生産を行い、各地域での顧客サービスを行います。また2015年12月より高剛性・高精度CNC旋盤NLX 6000 | 2000の販売を開始いたしました。多種多様なワークに対応する3種類の主軸をラインアップしており、航空機部品及びエネルギー分野を中心に大径・シャフトワーク加工に最適な大型精密CNCターニングセンタです。今後もより多くのお客様のニーズにお応えできるよう、より高機能で信頼性が高く、投資価値の高い製品を市場へ投入してまいります。

2015年、DMG MORIグループは日本、ドイツ、イタリア、スイス、フランス、ポーランド、米国、中国、ロシアによるグローバル生産体制を

構築し、大型化・複雑化・システム化するお客様のご要望に確実ににお応えできる体制を整えました。2015年9月にはロシアのウリヤノフスク工場、また2016年1月には奈良事業所に新設したシステムソリューション工場の稼働を開始いたしました。ロボット化、自動化に迅速に対応し、お客様と共に最適な工程を作りこむことが可能であり、今後も引き続きお客様の生産課題に対する提案力を強化するため、アプリケーションエンジニアの拡充を進めてまいります。

### ■ 配当について

第68期の期末配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり13円を3月25日からお支払いすることといたします。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年3月

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。ここに第68期（2015年4月1日から2015年12月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

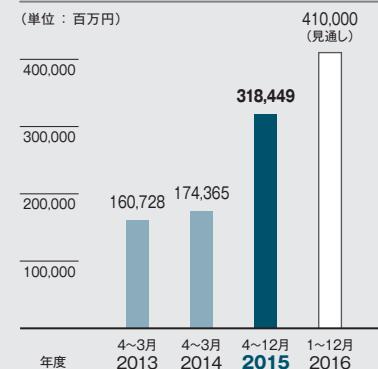
### ■ 事業の経過及び成果

当連結会計年度（当期）における業績は、売上収益が318,449百万円、営業利益が31,140百万円、税引前当期利益が29,681百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益が26,900百万円となりました。なお、営業利益には、第1四半期でDMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT（以下、DMG MORI AG）を連結対象会社としたことにより発生したDMG MORI AG株式評価差益（段階取得に係る差益）37,296百万円を計上した反面、DMG MORI AGの取得原価の配分結果及び北米市場の直販体制への移行に伴う一時的なコスト増加が含まれております。

地域別の受注環境は、国内市場では政府の設備投資減税や補助金等の投資促進策の効果もあり、堅調な受注を得られました。北米市場では、代理店ビジネスモデルから直接販売・サービスのビジネスモデルに変革を進めており、一時的な売上減及び大幅な人員増などにより大きな赤字となりましたが、2016年度にはその効果が寄与し黒字を達成できる見込み

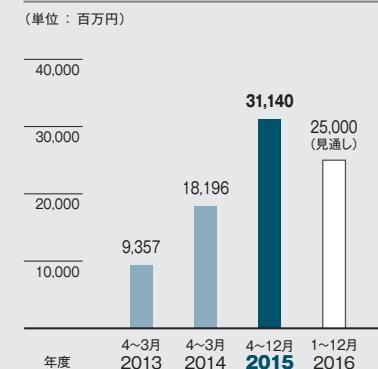
### ■ 連結売上収益

3,184 億円（4～12月）  
前年通期（4～3月）比  
1,441 億円 増



### ■ 連結営業利益

311 億円（4～12月）  
前年通期（4～3月）比  
129 億円 増



### ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

269 億円（4～12月）  
前年通期（4～3月）比  
98 億円 増



(注) 1.当社は、2015年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。  
2.当社は、2015年12月期第1四半期よりIFRS(国際会計基準)を適用しており、2015年3月期もIFRSに準拠した数値を掲載しております。  
3.当社は、2015年12月期第1四半期よりDMG MORI AGとの連結決算を行っており、2014年3月期と2015年3月期はDMG MORI AG連結前の数値を掲載しております。

2015年4月

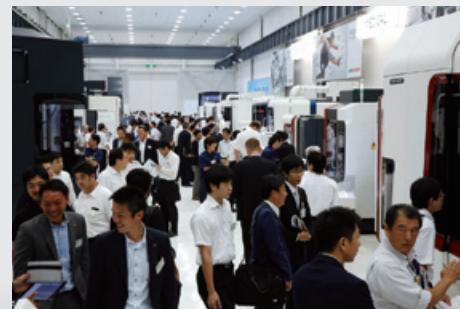
## DMG MORI AGを 連結対象会社化

DMG森精機とDMG MORI AGは、2009年3月より販売、開発、購買、生産などの各分野での連携を進めてきました。さらに企業価値を創出するためには、資本面においても両社が一体となって運営することが不可欠であるため、DMG森精機はDMG MORI AGに対し公開買付けを実施しました。公開買付けの結果、当社グループの株式保有比率は52.54%となりました。2015年5月に独占禁止法及び競争法の承認を得て、DMG MORI AGは当社の連結対象会社となりました。その後、公開市場で買付けを進め、2015年12月末の所有比率は60.7%となっております。今後も対等の精神で企業の統合を加速していきます。

2015年10月・11月

## メカトロテックジャパン2015 TOKYO INNOVATION DAYS

10月に名古屋で開催されたメカトロテックジャパン2015に出展し、16台の最新鋭の工作機械の展示及びデモ加工を実施しました。11月には東京グローバルヘッドクォーターにてTOKYO INNOVATION DAYSを開催し、5軸加工機を中心に31台の機械を展示しました。第11回切削加工ドリムコンテストの優秀作品の表彰式も同時に開催し、ご来場いただいた多くのお客様に、熟練の技術と斬新なアイデアが生み出した数々の作品をご覧いただきました。



2015年4月

## IFRS(国際会計基準)の適用開始

DMG MORIグループでは、グローバル化する企業活動及び投資活動に対応すべく、以前より国際的な会計基準であるIFRS適用に向けての取り組みを行ってまいりましたが、2015年12月期第1四半期よりIFRSを適用した連結財務諸表を開示しています。IFRSはDMG MORI AGでも適用されており、グループ内の会計処理の統一を図ることによって財務情報の比較が容易となります。なお、DMG森精機単体の財務諸表は、今後も従来通り日本基準で作成いたします。

### IFRSとは?

International Financial Reporting Standardsの略称です。2005年よりEU域内の統一基準として適用が義務付けられたのを契機に全世界で導入が広まり、現在は100以上の国や地域で利用されています。日本では2010年3月期より、上場会社の連結財務諸表において、IFRSの任意適用が認められています。工作機械業界では、当社が初の導入となります。

2015年

## 新製品5機種を発表

DMG MORIでは、常にお客様のニーズに沿った新製品を開発し、お届けしてまいりました。このたび発表しました新製品5機種は、いずれも長年にわたって培われたノウハウの結集と最新の技術との融合によって誕生しました。Y軸とミーリング機能を搭載した複合加工機A 150シリーズとフラットツーリングを特長とするG 100シリーズは、ワシノブランドの代表的な超高精度旋盤です。自動車用フランジワークの量産加工に最適な正面並行2スピンドル・2タレット旋盤NRX 2000、大径・シャフトワーク加工に最適な高剛性・高精度CNC旋盤NLX 6000 | 2000、究極の加工精度・耐久性を実現する立形マシニングセンタecoMill Vシリーズなど、いずれ劣らぬ個性豊かなラインアップとなっております。



2015年9月

## “梱包”から“包装”へ 製品の輸出に自社オリジナルシートを採用

DMG MORIでは、お客様からご発注いただいた大切なDMG MORI製品を、最高の工作機械にふさわしい形でお客様のお手元まで大切にお届けしたいという思いから、自社ブランドロゴ「DMG MORI」掲載の自社製シートで工作機械を“包装”するという新しい取り組みを開始いたしました。梱包シートを自らマネジメントするメーカーはDMG MORIが日本で初めてです。日本から世界各地に向けて工作機械を輸出する際に、精密機械で

あることを明確に表示し、さらに荷扱上のケアマークを充実させて取扱上の注意を強く喚起することにより、サプライチェーンにおける品質を向上してまいります。



2015年11月

## ポルシェに高精度の機械と 最高のエンジニアを提供

DMG MORIがプレミアムパートナーとしてサポートしているポルシェが、第83回ル・マン24時間レースにおいて1位と2位を独占し、17回目の優勝に輝きました。さらに、2015年FIA世界耐久選手権でも4連勝を達成。2015年マニファクチャラーズチャンピオンに輝いています。これらの偉業の達成には、DMG MORIが提供した技術とノウハウ、高精度な工作機械が大いに貢献しています。DMG MORIとポルシェとのコラボレーションにより、レーシングカーの部品を短時間で製造することを可能にし、史上最も革新的な車両が開発されました。今後もDMG MORIとポルシェは、強力で信頼できる

パートナー関係を築き、さらなる高みを目指して技術革新に努めてまいります。



# システムソリューション工場を 奈良に新設

2016年1月、当社の創業地・登記上本社である奈良事業所（奈良県大和郡山市）に、新しいシステムソリューション工場が稼動を開始しました。全世界のお客様のターンキーに対するご要望にさらに迅速にお応えし、自動車以外にも航空機、エネルギー等多種多様な産業向け工作機械の組立てや、システム立ち上げ等で、お客様の近くで最適なソリューションを提供していきます。



## 最先端のターンキー案件専用の工場

昨今、自動車関連のお客様のグローバル展開、及び新興国を中心とした自動車産業の拡大に伴い、納品後お客様がすぐに量産を開始できるターンキーと呼ばれる案件の需要が増えています。システムソリューション工場は、複数の機械や周辺機器を組み合わせて、完成車や自動車部品を

中心とした部品加工の生産システムラインが構築できる、ターンキー案件専用の工場です。



NRX 2000

### システムソリューション工場概要

所在地	奈良県大和郡山市井戸野町345番1 (奈良県大和郡山市：創業地・登記上本社)
敷地面積	約9,000m <sup>2</sup> (奈良第一工場の敷地面積は、現状の67,000m <sup>2</sup> から76,000m <sup>2</sup> に増加)
稼動開始	2016年1月
総投資額	約20億円 (奈良事業所全体。第一工場の外壁工事などを含む)
生産内容	自動車関連生産ライン、航空機、エネルギーなど多種多様な産業向け工作機械の組立て、システム立ち上げなど

## 全ての工程を工場内で完結

工場内には、長さ80mの生産システムラインを4本設置できます。内部には最新鋭の測定機器を取り揃えており、加工物の品質をその場で即座に確認することができます。また、出荷時には専用のトラック搬出スペースから出荷しますので、外部からの接触を断ち、お客様の大切な機密情報を守ります。



### 株主様向け

## 東京グローバルヘッドクォータ 見学会のご案内

見学会では、約30台の最新鋭の工作機械をご覧いただけるだけでなく、オペレーターによる機械の説明とともに実際のデモ加工もご覧いただくことができます。皆様のご応募をお待ち申し上げております。



日時

2016年6月25日(土) 11:00~14:30

見学場所	東京グローバルヘッドクォータ 1階 東京ソリューションセンター、2階 セミナールーム
参加費	無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担をお願いいたします）
募集対象	2015年12月31日現在、当社株式を100株以上保有する方（同伴者1名可。ただし小学生以上の方に限らせていただきます）
募集定員	50名（応募多数の場合は抽選とさせていただきます）
交通	【送迎バスをご利用の方】東京駅鍛冶橋駐車場 集合・解散 【公共交通機関をご利用の方】JR京葉線「潮見駅」西口下車 徒歩2分、東京グローバルヘッドクォータ 集合・解散 ※ 駐車場のご用意が無いため、自家用車でのご来社はお断りさせていただきます。
備考	昼食をご用意しております。

お申し込み 左記のQRコードもしくは下記のURLからのお申し込みのみとさせていただきます。  
<http://www.dmgmori.co.jp/irtour/>



締め切り 2016年 4月22日(金)  
6月上旬に当選者のみ郵送でご連絡（落選の場合はご連絡は差し上げません）

お問合せ DMG森精機株式会社 広報・展示会部 広報グループ  
E-mail : users@dmgmori.co.jp

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。そしてその全ての人間活動に工作機械は欠かせません。一見関係がないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。



複合加工機  
NTX 1000 2<sup>nd</sup> Generation



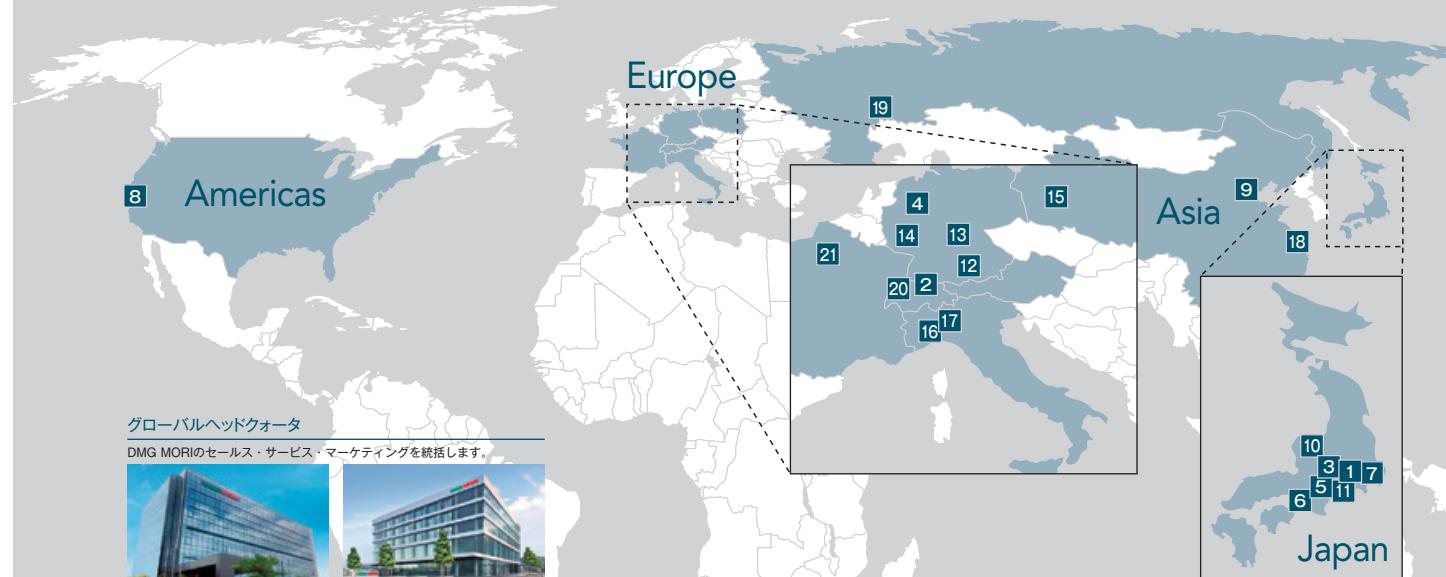
5軸マシニングセンター  
DMC 125 FD duoBLOCK

 ブリスク		航空・宇宙
 計器パネル		船舶
 ギヤボックス		自動車・バイク
 ソケット		医療
 ガイドブシュ		一般機械
 ドリルヘッド		エネルギー技術

全世界でお客様をサポートしています。

全世界のセールス & サービス

46カ国 165拠点



グローバルヘッドクォーター

DMG MORIのセールス・サービス・マーケティングを統括します。



1 東京(日本) 2 Winterthur(スイス)

ナショナルヘッドクォーター

DMG森精機とDMG MORI AGの本社として機能します。



3 名古屋(日本) 4 Bielefeld(ドイツ)

マニュファクチャリングヘッドクォーター

全世界の生産・製造を統括する工場です。



5 伊賀(日本)

生産拠点(国内)



6 奈良(日本) システムソリューション工場 7 千葉(日本)

生産拠点(海外・グループ会社)



8 Davis(アメリカ) 9 Tianjin(中国) 10 太陽工機(新潟) 11 マグネスケール(神奈川) 12 Pfronten(ドイツ) 13 Seebach(ドイツ) 14 Idar-Oberstein(ドイツ)



15 Pleszew(ポーランド) 16 Tortona(イタリア) 17 Bergamo(イタリア) 18 Shanghai(中国) 19 Ulyanovsk(ロシア) 20 Dixi machines, Le Locle(スイス) 21 Töbler, Louvres(フランス)

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2015年3月31日現在	2015年12月31日現在
流動資産	124,138	284,561
非流動資産	199,620	313,473
有形固定資産	72,187	141,919
のれん	1,164	68,218
その他の無形資産	6,639	72,834
その他	119,630	30,502
資産合計	323,759	598,034
流動負債	92,811	223,750
非流動負債	64,574	142,175
資本合計	166,373	232,107
負債及び資本合計	323,759	598,034

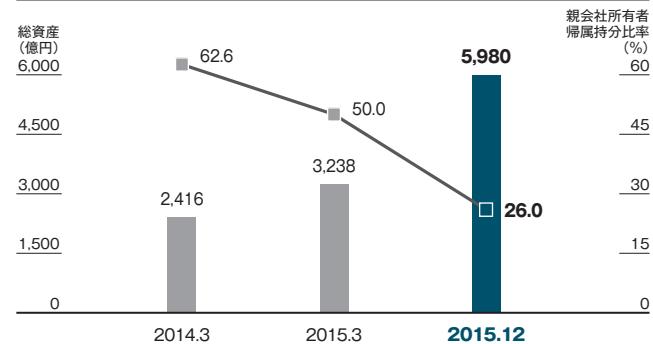
連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自2014年4月1日至2015年3月31日	自2015年4月1日至2015年12月31日
収益合計	179,130	361,362
売上収益	174,365	318,449
その他の収益	4,765	42,913
費用合計	160,933	330,222
商品及び製品・仕掛品の増減	△4,600	5,206
原材料費及び消耗品費	87,470	144,567
人件費	39,610	92,278
減価償却費及び償却費	6,763	14,638
その他の費用	31,690	73,532
営業利益	18,196	31,140
税引前当期利益	23,086	29,681
当期利益	17,328	29,029
親会社の所有者	17,080	26,900
非支配持分	248	2,129

(注) 1. 2015年12月期は決算期変更の経過期間となることから、2015年4月1日から2015年12月31日を当期としております。  
 2. 当社は、2015年12月期第1四半期よりIFRS(国際会計基準)を適用しており、2015年3月期もIFRSに準拠した数値を掲載しております。2014年3月期は日本基準に準拠した数値を掲載しております。  
 3. 当社は、2015年12月期第1四半期よりDMG MORI AGとの連結決算を行っております。

総資産／親会社所有者帰属持分比率



詳細情報は    
<http://www.dmgmori.co.jp/ir/>

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自2014年4月1日至2015年3月31日	自2015年4月1日至2015年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,342	18,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,690	△26,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,582	71,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	257	△1,426
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	2,492	62,168
現金及び現金同等物の期首残高	18,916	21,408
現金及び現金同等物の期末残高	21,408	83,577

会社の概要

2015年12月31日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町106番地 TEL:0743-53-1125(代)
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL:052-587-1811(代)
東京グローバルヘッドクォータ	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL:03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造、販売、サービス
従業員	12,230名(連結)
ホームページ	http://www.dmgmori.co.jp

株式の状況

2015年12月31日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	120,038,828株(自己株式12,904,855株を除く)
単元株式数	100株
期末株主数	41,943名

大株主

2015年12月31日時点

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,723	4.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,883	4.07
森 雅彦	3,540	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,608	2.17
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS(常任代理人 株式会社みずほ銀行)	2,505	2.09
PICTET AND CIE (EUROPE) S.A.(常任代理人 株式会社三井住友銀行)	2,367	1.97
森 智恵子	2,287	1.91
DMG森精機従業員持株会	2,170	1.81
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,830	1.52
森 優	1,720	1.43

(注) 1. 当社は、自己株式(12,904,855株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

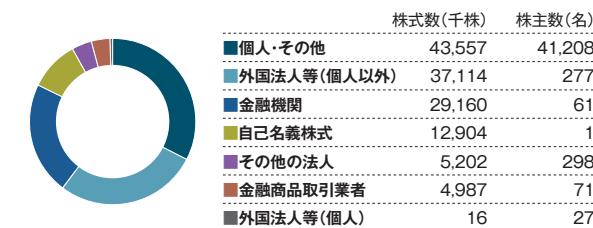
役員

2016年3月24日時点

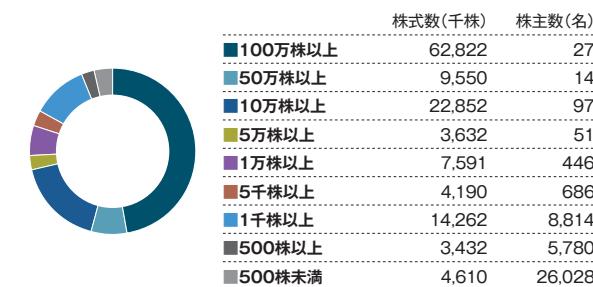
取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 近 藤 達 生
取締役副社長	※ 玉 井 宏 明
専務取締役	高 山 直 士
専務取締役	小 林 弘 武
取締役	大 石 賢 司
取締役	青 山 藤 詞 郎
取締役	野 村 剛
常勤監査役	佐 藤 壽 雄
監査役	加 藤 由 人
監査役	木 本 泰 行

(注) 1. ※印は、代表取締役を示しています。  
 2. 取締役の青山藤詞郎、野村剛の両氏は、社外取締役です。  
 3. 監査役の加藤由人、木本泰行の両氏は、社外監査役です。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日 (ただし、第68期は4月1日～12月31日の9ヵ月決算となります。)
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話:0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.dmgmori.co.jp">http://www.dmgmori.co.jp</a> (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。

製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。

2015年12月期決算説明会補足資料を以下サイトで開示しています。

[http://www.dmgmori.co.jp/ir\\_library/ir\\_news/](http://www.dmgmori.co.jp/ir_library/ir_news/)



TOPページ



IRページ

<http://www.dmgmori.co.jp>

